

✓ 中学生の活動の場を、学校から地域に展開します

【「さやまプラス」の特徴】

- 地域のスポーツ・文化芸術団体をはじめとした幅広い団体が主体となり、学校の施設などを活用し、スポーツや文化活動など、子どもたちに活動の場を提供します
- 「仲間と楽しんで活動する」「目標に向けて一生懸命に取り組む」など、子どもたちの意向を尊重します



「さやまプラス」はだれが指導してくれるの？

A 活動団体は登録制で、要件を満たす団体を教育委員会事務局が公募・審査し、登録します。登録団体が主な指導者として活動します。



「さやまプラス」に参加するには費用がかかるの？

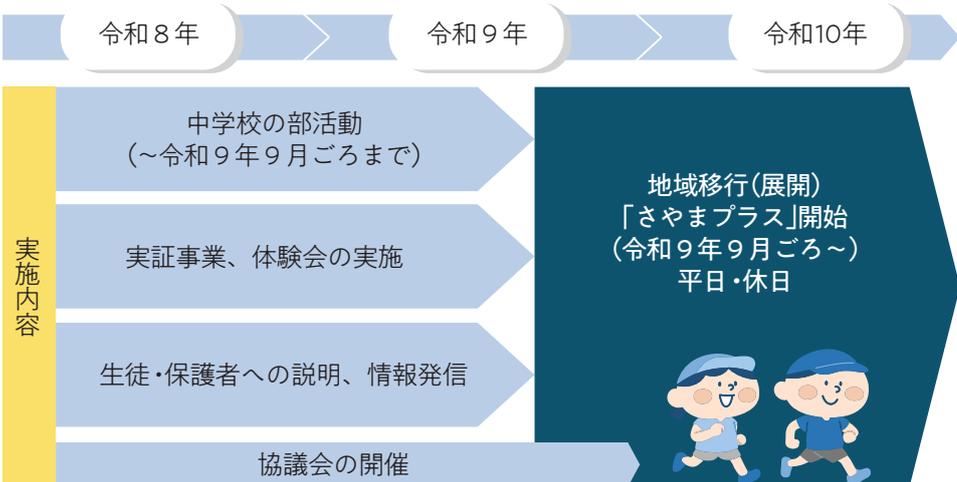
A 「さやまプラス」は原則として会費制で、その費用は受益者(各家庭)が負担します。

子どもたちは校区や世代を超えて、自分自身が「やりたいこと」を選んで活動します

【部活動と「さやまプラス」の違い】

	部活動	さやまプラス
運営主体	学校	地域の様々な団体(登録制)
指導者	教職員、部活動指導員	多様な人材、希望する教職員(兼職兼業)
参加者	その学校の生徒	生徒など(世代間交流を含む)
活動場所	学校施設	学校施設、地域の諸施設
費用負担	消耗品や道具などの費用(実費相当)	月額費など
保険	日本スポーツ振興センター災害共済	団体ごとに加入(スポーツ安全保険など)

✓ 「さやまプラス」開始までのスケジュール(予定)



令和9年から  
「さやまプラス」が始まります  
部活動の地域展開

問い合わせ 教育指導グループ ☎3604523、  
生涯学習グループ ☎34919487

市では、部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来にわたって子どもたちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することを目的として、令和9年9月ごろに部活動を終了します。そして、平日・休日ともに、子どもたちが地域の人々と共に活動する「さやまプラス」を開始します。

## サッカー部で実証事業スタート！

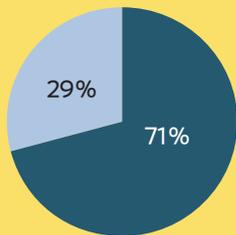
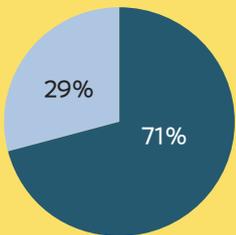
令和6年9月から、屋内の部活動として卓球部で地域展開に向けた実証事業が開始しました。加えて令和7年9月からは屋外の部活動としてサッカー部でも開始しています。



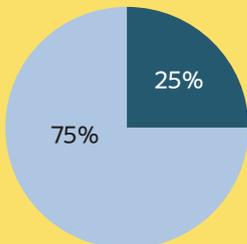
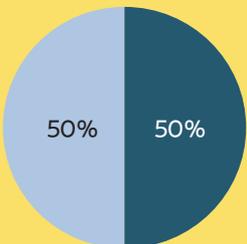
▲合同練習の様子  
▼試合のハーフタイム中の話し合いの様子

サッカー部での実証実験について、関係者に4択式のアンケートを実施しました。

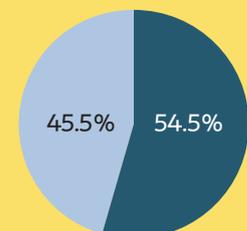
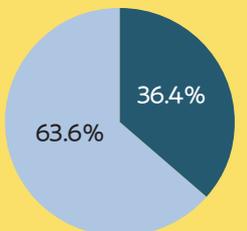
**【部員アンケート】** ■ とてもそう思う □ そう思う  
Q指導者の教え方はわかりやすい      Qサッカーの技術や知識が向上していると感じる



**【教員アンケート】** ■ とてもそう思う □ そう思う  
Q地域展開により、生徒にとって部活動の質は向上した      Q学校全体として、部活動の地域展開はプラスになっている



**【保護者アンケート】** ■ とてもそう思う □ そう思う  
Q指導に満足している      Q子どもの成長に良い影響が出ていると思う



## ✓ 校区を超えて参加できる「さやまプラス」

さやまプラスでは、生徒が現在学校部活動にはない種目を含めた選択肢から「やりたいこと」を選んで参加します。技術・技能向上をめざす活動から、運動機会の確保、多世代で趣味などを一緒に楽しむような活動まで、多様な活動に広がっていきます。



南中学校  
サッカー部顧問  
塩月先生

サッカー経験が豊富なコーチによる、専門性の高い指導のもと、サッカーが好きな生徒が集まり、日々、一生懸命に練習をしています。

さやまプラスが子どもたちの放課後の多様な活動を支える取り組みになってほしいと思います。